第　１３　号

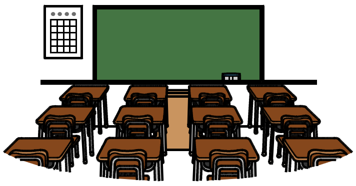
浮金小だより

発行：平成３１年１月８日（火）　　　　　　　　　文責：浮金小学校長　松﨑　健一

明けましておめでとうございます

　どちら様のご家庭でも、よき新春を迎えられたものと推察しお喜び申し上げます。お陰様で、この冬休み中、子どもたちに何事もなく無事過ごせたようです。ご協力に感謝いたします。
　さて、平成３０年度も残すところ３ヶ月となりました。目の前の子どもたちのため、今年も全教職員が一丸となって指導に当たりますので、本年もよろしくお願いいたします。

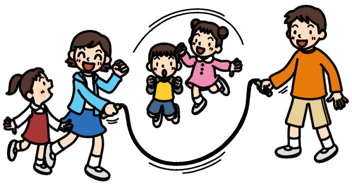
3学期のキーワードは・・・「つなぐ」



☆次の学年へ　または　中学校へ「つなぐ」

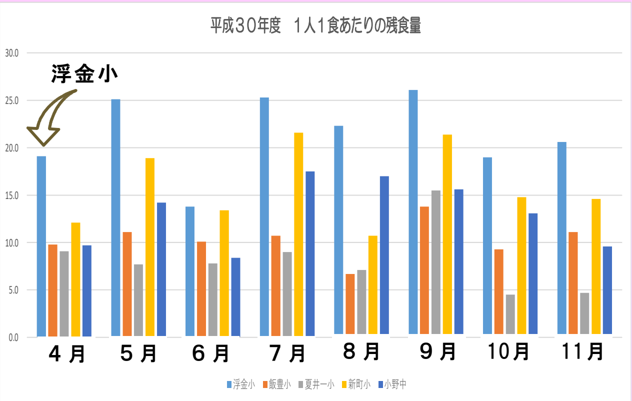
　現学年の学習内容を身につけさせて進級・進学させたいと考えています。これまでの自分の学習について振り返らせながら、自分の課題をはっきりさせて頑張らせようと思います。そして、日々の授業が子どもたちにとって「分かった」「できた」「楽しかった」と感じることができるよう努めていきます。

☆浮金小学校の伝統を「つなぐ」



　６年生が中心となって築き上げてきた伝統を、さらによりよいものとしていくために引き継ぎを大切にしていきます。６名の６年生が卒業したあとは、今の５年生が中心となって学校の諸活動が動いていきます。５年生が、さらに頼りがいある学校のリーダーとなれるよう頑張らせるとともに、浮金小学校の児童が一つのチームとなって取り組む姿を大切にしていきたいと思います。

校長室より

本日の始業式で次のような話をしました

　このグラフは、小野町の４つの小学校と小野中学校の月ごとのある量を表したものです。青が浮金小です。どの月も浮金小が一番多いです。さて何が１番なんでしょうか。実は、あまり嬉しくない１番なんです。一人一食あたりの給食を残した量を表したグラフなんです。浮金小は一人あたりで計算してみると給食を残す量が一番多い学校だということです。残念な結果ですよね。さてどうすればいいでしょうか。「私はいつも残さず食べているのに…」「食べられる人が、もっと食べればいいのに…」と考えている人がいるかもしれませんが、悪い結果を人のせいにしても何も解決しません。いつも残さず食べている人は、「これからも残さず食べよう」と思えばいいのです。
　校長先生は、感謝の気持ちを行動で表していない人が多いのだろうと思います。皆さんは食べものに感謝していますか。皆さんは作ってくれた人に感謝していますか。皆さんはメニューを考えてくれた人に感謝していますか。給食一口メモの皆さんの文章からは感謝の気持ちが伝わってきますが、このグラフからも分かるように、行動には表れていません。「○○が嫌いだから食べない」「自分は美味しいと思わないから食べない」と好きなものや美味しいものは、おかわりもするし残さない。嫌いなものや美味しいと思わないものは、食べる量を減らして残してしまう。
　給食センターでは、皆さんの健康を考え、そして皆さんに残さず食べてもらえるよう、いろいろな工夫をしながら、今日も一生懸命に給食を作ってくれています。さて、皆さんはどうすればいいでしょうか。一人一人よく考えて、感謝の気持ちを行動で表してみませんか。